



坂戸市立桜中学校・学校だより

自主・澁刺

令和8年度

4月

「学校教育目標」自ら学び心豊かでたくましい生徒の育成

「108名の新たな一歩」

春光うらかな良き日に、108名の新入生を迎え、令和8年度の教育活動がスタートしました。真新しい制服に身を包んだ新入生たちは、期待と緊張の入り混じった表情で校門をくぐりました。その初々しくも、これから始まる中学校生活への意欲に満ちた姿は、大変頼もしく感じられました。

本校では、校訓「自主・澁刺」のもと、「自ら学び、心豊かでたくましい生徒の育成」を教育目標に掲げています。今年度も、この目標の具現化に向け、日々の教育活動を大切に積み重ねていきます。

学校生活を支える「3つの基本の行動」

校長式辞では、学校生活の土台として「挨拶」「返事」「人の話をしっかり聴く」の大切さを伝えました。

- 挨拶は、人と人をつなぎ、学校全体の温かな雰囲気をつくる第一歩です。
 - 返事は、自らの姿勢を整え、相手との信頼関係を築く基盤となります。
 - 聴く姿勢は、相手を尊重する心を育むとともに、深い理解と豊かな思考を養います。
- これらは当たり前のことのようにですが、日々の継続こそが、生徒一人一人の心の成長を支える大きな力となると信じています。

新入生誓いの言葉：響き合う思いやりの心

式典の後半、新入生代表による「誓いの言葉」では、大変心強く、また温かな決意が述べられました。

- 「周りの人への感謝の気持ちを忘れず、仲間を思いやることのできる中学生になりたい」
 - 「困っている人がいたら自然に声をかけ、お互いに支え合い、励まし合える関係を築いていきたい」
- 代表生徒のこの言葉は、新入生全員の総意であると感じます。校長が示した「3つの基本の行動」の先に、生徒たちが目指す「支え合いの姿」があります。その一致した歩みに、深い感銘を受けました。

小中連携とこれからの成長に向けて

また、校区内の小学校の卒業式では「夢を持つなら計画的な取り組みを」「笑顔の大切さ」が語られていました。これらは中学校生活においても欠かせない要素です。小中9年間の学びの連続性を意識し、一歩ずつ努力する姿勢と、周囲を明るくする笑顔を、引き続き大切に育てていきます。

中学校の3年間は、心身ともに大きく変容する時期です。成功体験はもちろん、時には壁にぶつかる経験も糧にしながら、自らの道を切り拓く力を養えるよう、教職員一同、誠心誠意サポートしていきます。

保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。今年度も、生徒一人一人の可能性を最大限に伸ばせるよう支援していきます。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしく申し上げます。

